

◎ピロリ菌とは

ヘリコバクター・ピロリ菌（以下 ピロリ菌）はヒトの胃粘膜に寄生して胃の粘膜に炎症を起こす「らせん状の桿菌」で、幼少時に口から感染して胃粘膜に慢性的な炎症を起こしていきます。



◎ピロリ菌は胃・十二指腸かいようの原因
になります。

胃・十二指腸かいようの
患者さんのピロリ菌感染率

- ピロリ菌に感染していない
- ピロリ菌に感染している



胃・十二指腸かいよう

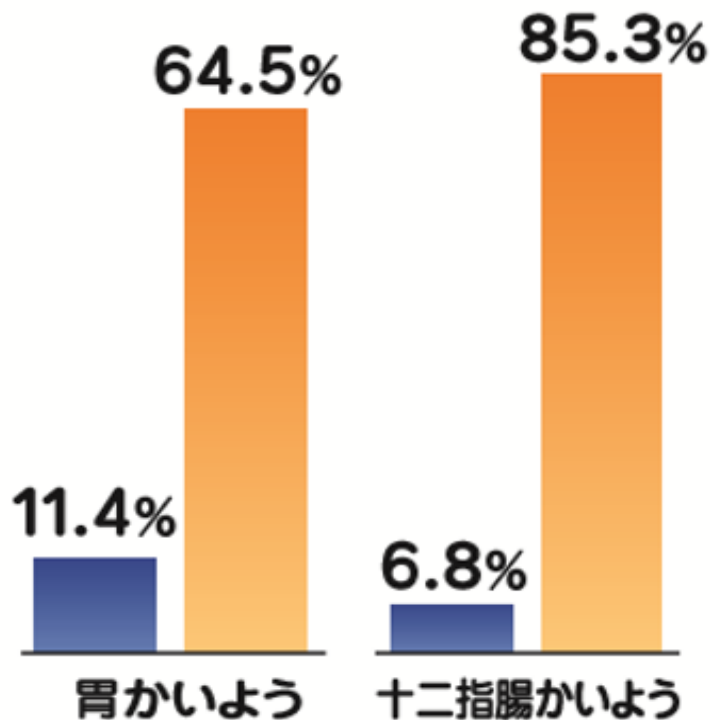
Asaka M. et al.: J. Gastroenterol. 38, 339, 2003

◎ピロリ菌を除菌することによって、胃・十二指腸かいようの再発率は著しく低下します。

1年間に再発する人の割合

■ 除菌できた場合

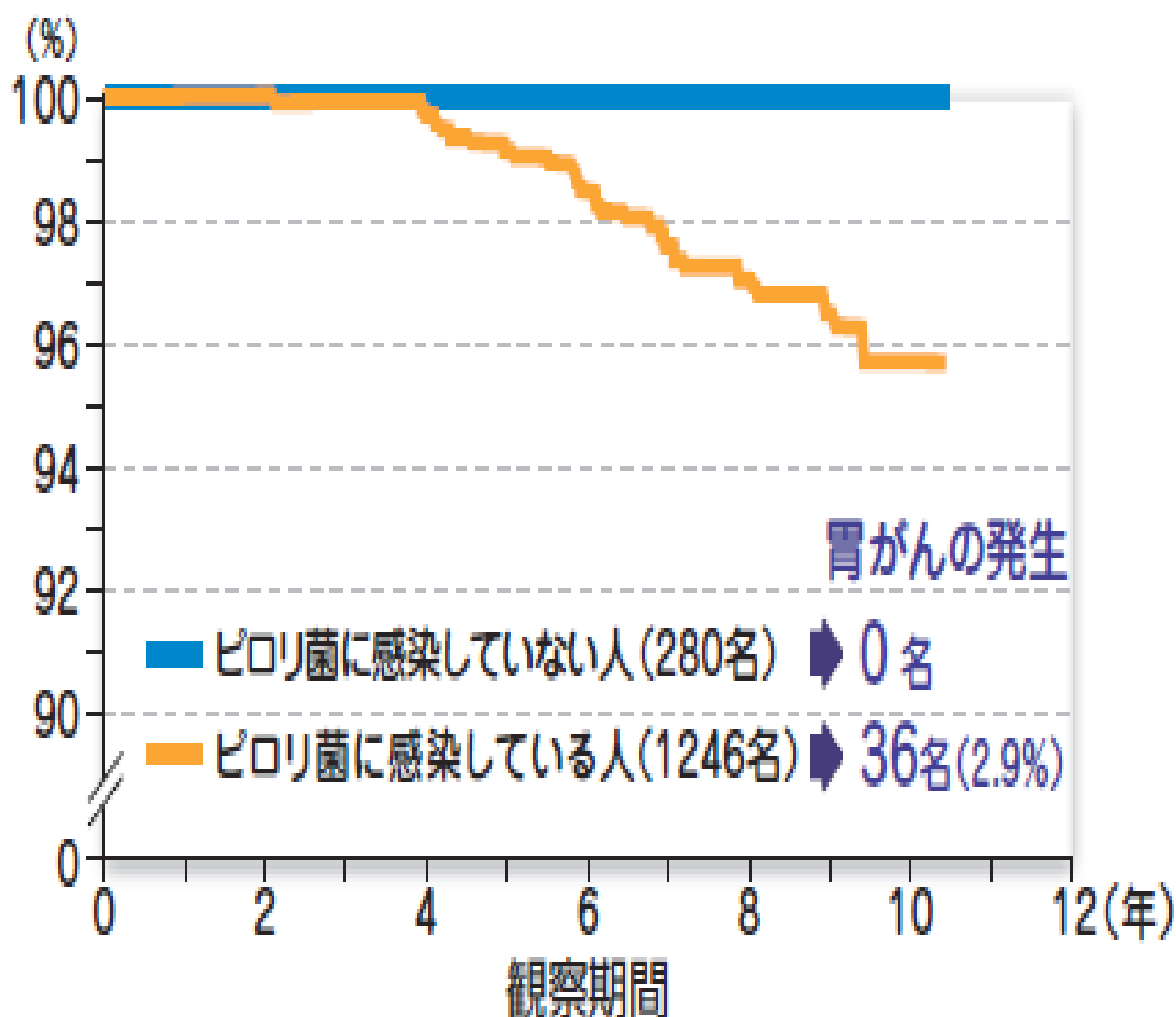
■ 除菌できなかった場合



Asaka M. et al.: J. Gastroenterol. 38, 339, 2003

◎ピロリ菌に感染していると胃がんになりやすくなります。

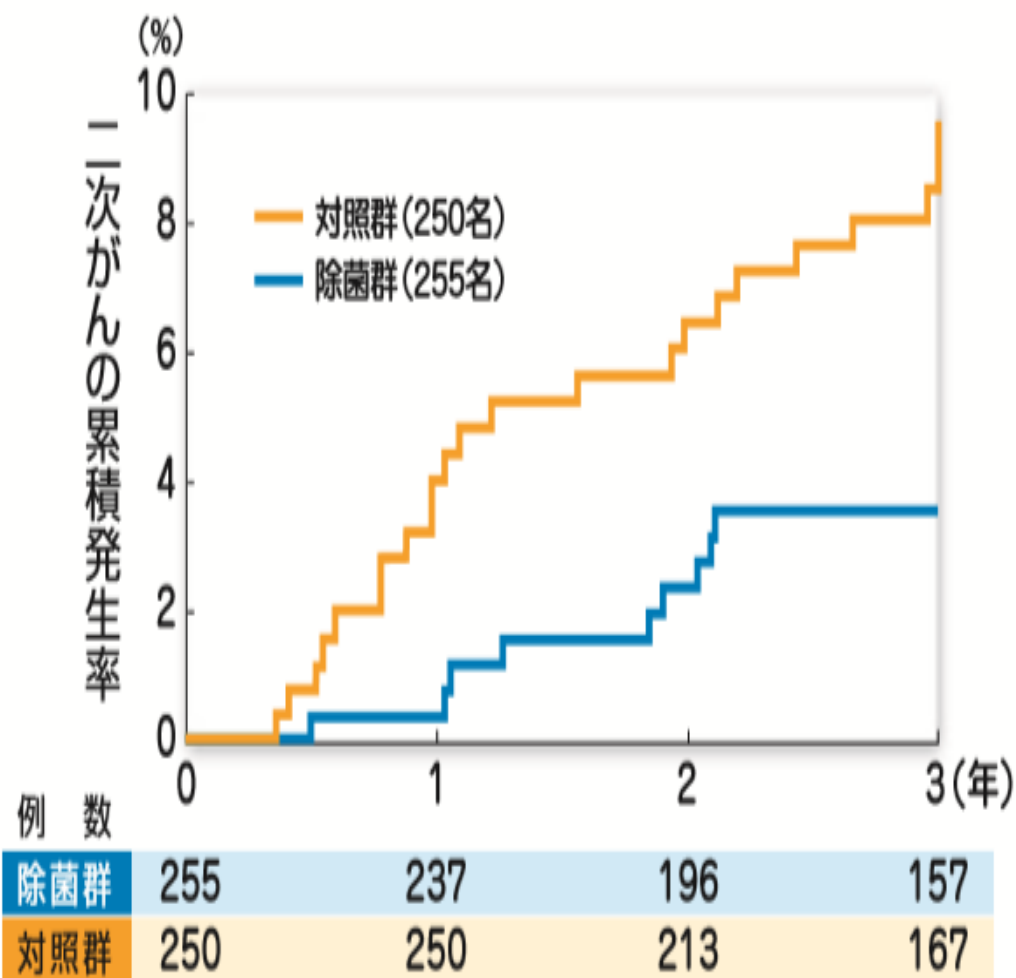
胃がんを認めない人の割合



Uemura, N., et al.: N Engl J Med, 345, 784, 2001

◎ピロリ菌を除菌すると胃がんの発生率が3分の1に減ります。

早期胃がん内視鏡治療後の異時性多発がん発生に対する *H. pylori* 除菌効果



Fukase K, Kato M, Asaka M, et al.: Lancet. 372, 9636, 392, 2008

◎ピロリ菌・除菌後の胃がんのリスクは、 10年目から顕著に低下

ピロリ菌・除菌後の胃がんのリスクは、除菌後10年目以降から顕著に低下することが明らかとなり、Gastroenterology 誌に掲載されました。

胃がんの罹患率は60歳以上で0.82倍、40-59歳で0.32倍に低下しました。



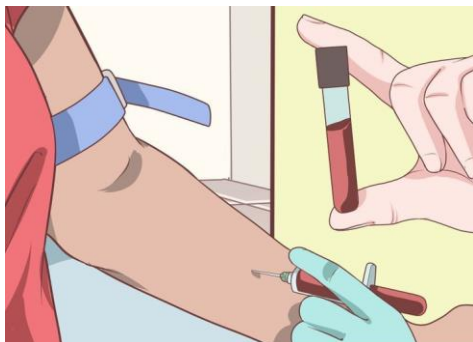
◎ピロリ菌の検査

胃カメラを使う方法

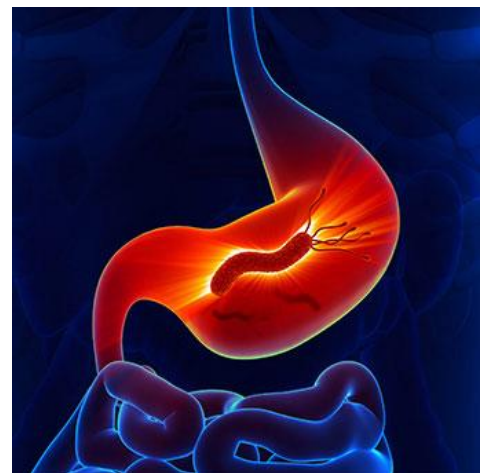
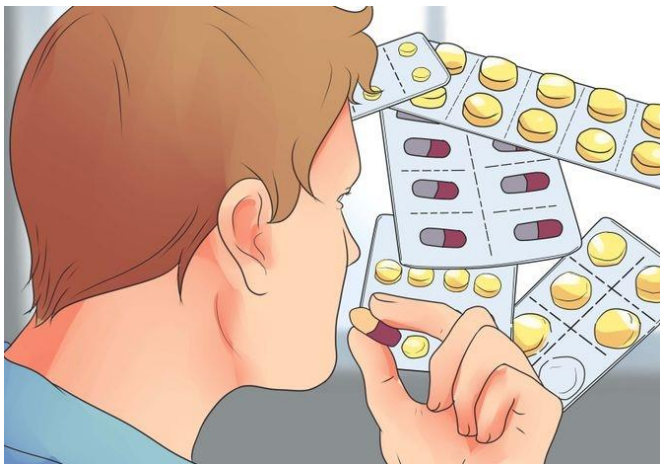
- 培養法
- 迅速ウレアーゼ法
- 組織鏡検法

胃カメラを使わない方法

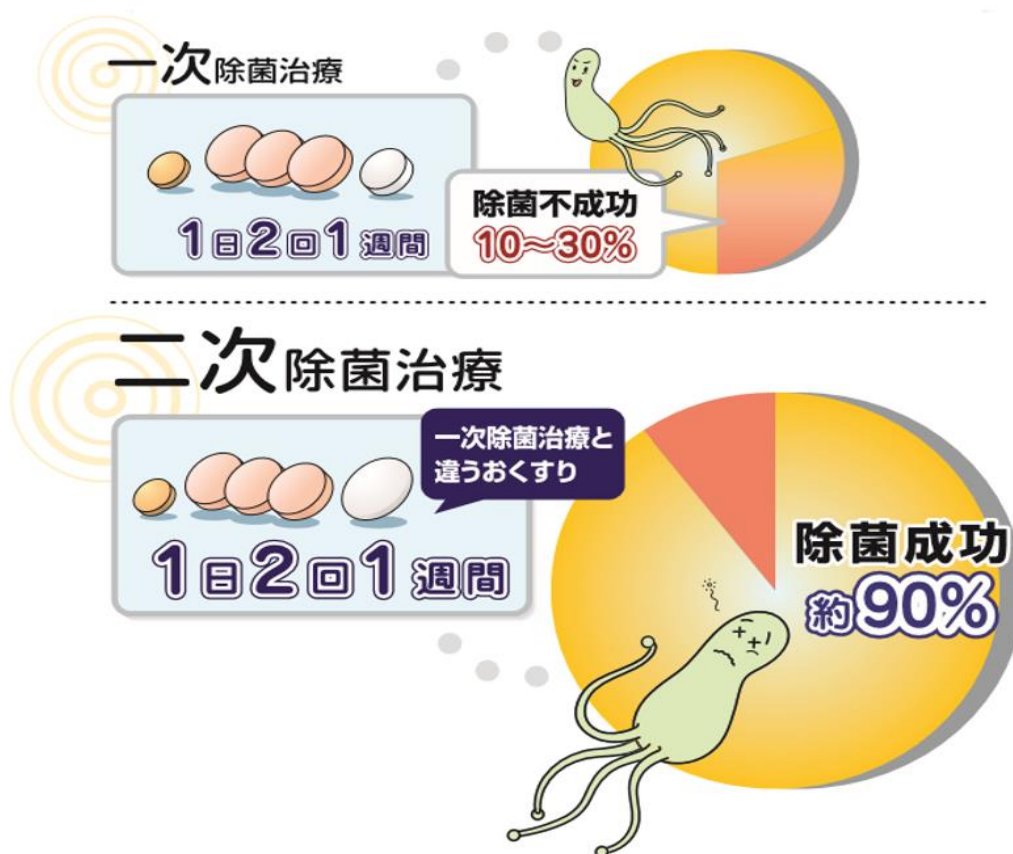
- 尿素呼気試験法 [呼気]
- 抗体測定法 [尿、血液]
- 抗原測定法 [便]



◎ピロリ菌の治療は、2種類の抗生物質と1種類の胃酸を抑えるくすりを1日2回(朝夕)、1週間のむことにより約70-80%に患者さんに除菌可能です(1次除菌)。



◎さらに、1回目の治療で除菌できなかった場合、お薬を変えて治療を行うことにより、約90%の患者さんで除菌ができます（2次除菌）。

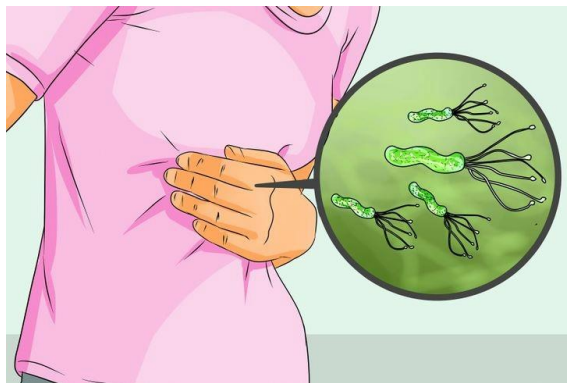


◎ピロリ菌は乳幼児期に感染することがほとんどです。感染を撲滅するため、親になる年齢以前にピロリ菌の有無を調べて、陽性の場合には除菌しましょう。



◎ピロリ菌は、次のような病気にも関係しています。

- 胃 MALT リンパ腫
- 機能性胃腸症
- 胃ポリープ
- 特発性血小板減少性紫斑病



出典 ピロリ菌 Q&A (EA ファーマ株式会社)
北海道大学 がん予防内科学講座 特任教授 浅香正博先生
ピロリ菌の二次除菌治療を受けられる患者さんへ
大分大学医学部 消化器内科学講座 教授

「胃炎の京都分類」

ピロリ菌と内視鏡所見との関連を包括した分類

Table 1. *H. pylori* 感染状態からみた内視鏡所見

局在	内視鏡所見名	英語表記	感染	未感染	除菌後
胃粘膜全体	萎縮	atrophy	○	×	○～×
	びまん性発赤	diffuse redness	○	×	×
	腺窩上皮過形成性ポリープ	foveolar-hyperplastic polyp	○	×	○～×
	地図状発赤	map-like redness	×	×	○
	黄色腫	xanthoma	○	×	○
	ヘマチン	hematin	△	○	○
	稜線状発赤	red streak	△	○	○
	腸上皮化生	intestinal metaplasia	○	×	○～△
	粘膜腫脹	mucosal swelling	○	×	×
	斑状発赤	patchy redness	○	○	○
	陥凹型びらん	depressive erosion	○	○	○
	胃体部	皺襞腫大, 蛇行	enlarged fold, tortuous fold	○	×
白濁粘液		sticky mucus	○	×	×
胃体部～穹窿部	胃底腺ポリープ	fundic gland polyp	×	○	○
	点状発赤	spotty redness	○	×	△～×
	多発性白色扁平隆起	multiple white and flat elevated lesions	△	○	○
胃体下部小彎～胃角	RAC	regular arrangement of collecting venules	×	○	×～△
胃前庭部	島肌	nodularity	○	×	△～×
	隆起型びらん	raised erosion	△	○	○

○ 観察されることが多い, × 観察されない, △ 観察されることがある.
文献 29) から引用.